

TOPICS

1 ●ホンダ交通安全企業セミナー 効果的な取り組み事例を共有



座学では本田技研工業(株)熊本製作所で効果のあった従業員の事故防止手法が紹介された



動画KYTを体験する参加者



千葉英雄・本田技研工業(株)安全運転普及本部事務局長



山地徹・沖繩ホンダ(株)社長

7月21日、「ホンダ交通安全企業セミナー」安心経営のための社内交通安全活動」が沖繩産業支援センター(沖繩県那覇市)で開催された(主催:本田技研工業(株)安全運転普及本部、共催:沖繩ホンダ(株)、協力:沖繩県警察、(財)沖繩県交通安全協会連合会)。午前の部、午後の部の2部構成で、企業の交通安全推進担当者など63名が参加した。開会にあたり主催者を代表して、千葉英雄・安全運転普及本部事務局長、ならびに山地徹・沖繩ホンダ(株)社長が挨拶。千葉事務局長は「本日は企業内で交通安全に取り組み方法など、具体的な事例を紹介していきます。交通事故削減という同じ志を持つ仲間として、皆様のお役に立てれば幸いです」、山地社長は「このセミナーを通じて、皆様といっしょに沖繩県における交通安全を実現させていきたい」と述べた。

今回のセミナーは座学と実技体験で構成されている。座学は「ホンダが取り組む具体的な交通安全防止活動」と題し、同社熊本製作所が従業員の安全運転意識を向上させ、交通事故削減につなげた事例を発表。小集団活動による従業員の意識づけ、ヒヤリマップ作成による通勤路上の事故防止、KYT(危険予測トレーニング)の活用など、さまざまな手法が紹介された。また、動画KYTを使い、沖繩県の特徴であるクルマとバイクの混合交通における危険場面を題材に、ホンダのインストラクターが事故を回避するための運転についてアドバイスした。

実技体験は「安全運転手法としてのセーフティ&エコドライブの実践」。最初に、インストラクターがエコドライブに必要な運転操作を説明し、それがどのように安全運転に寄与するのか参加者に伝えた。そして、「エコドライブを意識するあまり、周囲の交通の流れを妨げる運転にならないように配慮も必要です」と付け加えた。その後、参加者一人ひとりがホンダのハイブリッドカー「インサイト」など実車を運転し、会場周辺の一般道路を走行。通常の運転とエコドライブを意識した運転での燃費を比較することで、参加者はエコドライブの効果を実感した。

セミナー終了後は自由歓談となり、企業で交通安全に関わる方々の相互交流と情報交換の場となった。会場内には「ホンダセーフティナビ」も展示され、多くの参加者が体験した。

※HondaセーフティナビはHondaが開発した簡易型四輪ドライビングシミュレーター向け安全運転教育用ソフト。エコドライブのポイントを学べる「エコドラ」と、安全運転のポイントを学べる「SD(セーフティドライビング)コーチャー」の2種類で構成されており、楽しみながらエコドライブと安全運転を学習できる。詳しくは安全運転普及本部 教育機器課へ。TEL:048(452)0559



参加者の注目を集めたHondaセーフティナビ

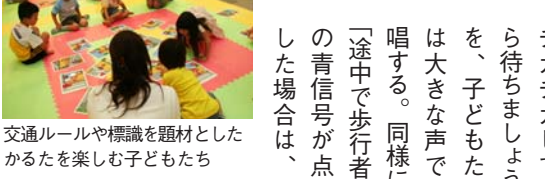


会場周辺の一般道路を走行し、エコドライブによる燃費向上の効果を確認してもらった

2 ●キッズデザイン博2009「交通安全ワークショップ」 かるた遊びを楽しみながら 子どもたちが交通ルールを身につける



キッズデザイン博2009の会場で「交通安全ワークショップ」が開かれた



交通ルールや標識を題材としたかるたを楽しむ子どもたち

8月6日(木)から8月9日(日)までの4日間にわたりTEPIA(東京都港区)で開催されたキッズデザイン博2009の会場で、6日〜8日の3日間、親子で楽しめる交通安全ワークショップ(主催:フレールベル館、企画協力:本田技研工業(株)安全運転普及本部)が開かれた。

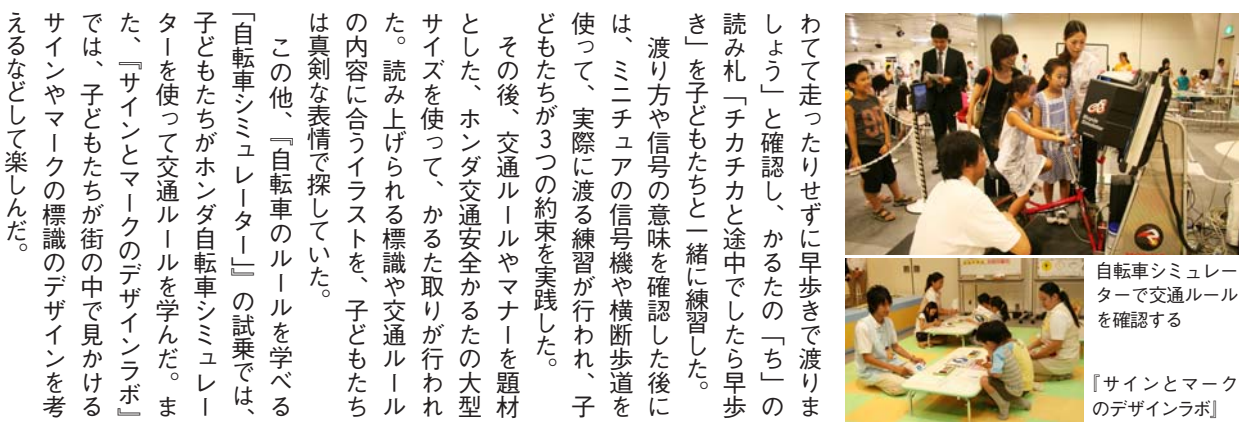
交通安全ワークショップは「かるたで学ぼう!交通安全」「自転車のルールを学べる」「自転車シミュレーター」「サインとマークのデザインラボ」の3つ。会場は多くの親子連れで賑わった。このうち、「かるたで学ぼう!交通安全」は、子どもたちに、かるたを通じて楽しみながら交通ルールを身につけてもらおうというワークショップ。最初は、かるたの一部に出てくる「横断歩道の渡り方」をお姉さん役の俳優が指導する。

まず、お姉さんが「道を渡る時には3つの約束があります」と子どもたちに語りかける。約束は「止まる」「手をあげる」「見る」の3つ。「道を渡る前には、信号が青でも必ず止まる」「クルマを運転している人に合図をするために、手をあげる」「渡る前に、右、左、右を見て、クルマが止まっているか確かめる」。子どもたちは、3つの約束を繰り返し、道路の渡り方を確認した。

次に、信号の意味を確認。お姉さんが「渡る前に歩行者用の青信号がチカチカしていたらどうすればいいでしょう」と子どもたちに問いかける。そして、大型サイズのかかるたを取り出し「正解は、この絵のように渡らずに次の青まで待ちます」と説明する。そして、かるたの「さ」の読み札「最初からチカチカして待ちましょ」を、子どもたちを、子どもたちは大きな声で復唱する。同様に、「途中で歩行者用の青信号が点滅した場合は、あ

「かるたで覚えよう! 交通ルール★Honda交通安全かるた」
抽選で50名様にプレゼント!

キッズデザイン博2009「交通安全ワークショップ」の会場で子どもたちが楽しんだ、「かるたで覚えよう! 交通ルール★Honda交通安全かるた」(普通サイズ)を、抽選で読者の方50名様にプレゼントいたします。ご希望の方は、住所、氏名、電話番号、SJへの感想をご記入の上、下記FAXまたはメールアドレスに、ご応募ください。
応募締切: 2009年9月18日(金)
応募先: 本田技研工業(株)安全運転普及本部 かるたプレゼント係
FAX 03-5412-1737 e-mail sj-mail@spirit.honda.co.jp
なお、当選の発表は発送をもってかえさせていただきます。
※かるたはHondaウエルカムプラザ青山でも販売しています(定価500円(税込))。また、今後ホームページでも販売する予定です。
詳しくは下記ホームページをご確認ください。
<http://www.honda.co.jp/safetyinfo/publish/>



自転車シミュレーターで交通ルールを確認する

「サインとマークのデザインラボ」

交通安全ワークショップの様子は、下記ホームページでも詳しく紹介しています。
<http://www.honda.co.jp/safetyinfo/kidsdesign/>

NEWS REVIEW

●第42回二輪車安全運転全国大会 二輪運転者の安全運転技能を競う



(財)全日本交通安全協会二輪車安全運転推進委員

8月1、2日の両日、鈴鹿サーキット交通教育センターにて「第42回二輪車安全運転全国大会」が開催された(主催: (財)全日本交通安全協会二輪車安全運転推進委員

会)。同大会は、二輪運転者の安全運転技能と交通マナーの向上を図ることにより、交通事故を防止することを目的として、昭和43年から毎年開催されている。今年も、全国47都道府県から187名の代表が参加した。競技は、法規履行走行と技能走行(10種目)を女性クラス(50cc)、高校生等クラス(50cc)、一般Aクラス(400cc)、一般Bクラス(750cc)に分かれて、

各クラス別の個人賞と各クラスの得点を合計した総合得点で団体賞を競う。大会2日目には、記念式典が国際レーシングコースにて開催され、大会副会長の青木哲・(社)全国二輪車安全普及協会会長と入谷誠・三重県警察本部長が挨拶。出場選手全員による走行パレードが行われた。大会成績は、団体優勝が東京都、2位・岡山県、3位・熊本県。個人賞は、女性クラス・友定宏美さん(島根県)、高校生等クラス・片岡美樹さん(東京都)、一般Aクラス・東健悟さん(愛媛県)、一般Bクラ

ス・曾我野浩二さん(千葉県)が優勝した。女性クラス優勝の友定さんは、「周りの人の支えがあり、練習が結果につながったと思います」と話す。また、高校生等クラスで優勝した片岡さんは、「昨年のリベンジと思い挑みました。結果が出せてよかったです」と喜びを語った。



個人賞の優勝者